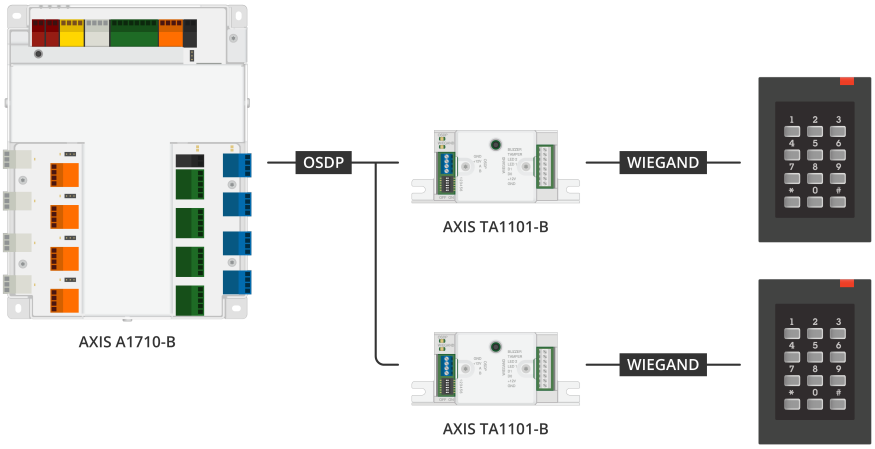
AXIS TA1101-B Wiegand to OSDP Converter

ユーザーマニュアル

目次

ソリューションの概要 3
仕様 4
製品概要 4
LEDインジケーター 4
ボタン 5
コントロールボタン 5
コネクター 5
OSDPコネクター 5
Wiegandコネクター 5
監視入力 6
DIPスイッチコネクター 7
トラブルシューティング 8
工場出荷時の設定にリセットする 8
..... 8
設定モード 8
デバイスソフトウェアをアップグレードする 8
技術的な問題、ヒント、解決策 8
サポートに問い合わせる 9

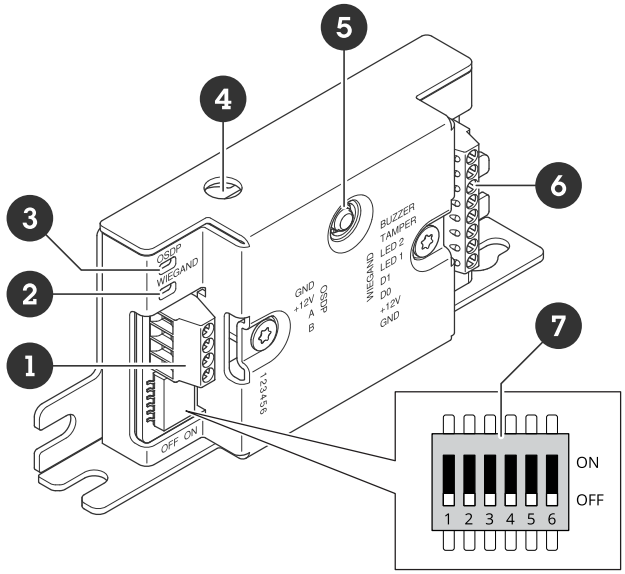
ソリューションの概要



Wiegand OSDPコンバーターは、WiegandデータをOSDPに変換するためにWiegandリーダーとドアコントローラーの間で使用されます。各Wiegandリーダーを1つのコンバーターに接続する必要があります。

仕様

製品概要



1 *OSDPコネクター*
2 *Wiegand LED*
3 *OSDP LED*
4 *ケース開放タンパー*
5 *コントロールボタン*
6 *Wiegandコネクター*
7 *DIPスイッチ*

LEDインジケーター

OSDP LED	説明
1秒ごとに緑点滅	待機中。OSDP通信なし
各OSDP応答送信で50ミリ秒ごとに緑点滅	OSDP通信正常
赤	ケースタンパーまたはWiegandリーダータンパー有効
緑	コントロールボタンを15秒未満押して待機
250ミリ秒ごとに赤/緑点滅	デバイスソフトウェアのダウンロードとインストール
100ミリ秒ごとに緑点滅	コントロールボタンを15秒以上(*)押して工場出荷時の設定にリセット
100ミリ秒ごとに赤点滅	コントロールボタンを60秒以上(*)押してデバイスソフトウェアを消去

Wiegand LED	説明
緑	Wiegandデータ受信

(50ミリ秒間オン)	
緑 (1秒間オン)	設定モード(*)の開始または終了
250ミリ秒ごとに緑点滅	設定モード(*)
赤	Wiegand出力過電圧エラー

(*) *コントロールボタン, on page 5*を参照。

ボタン

コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- デバイスの工場出荷時の設定へのリセット。*工場出荷時の設定にリセットする, on page 8*を参照してください。
- 設定モード。*設定モード, on page 8*を参照してください。

コネクター

OSDPコネクター

OSDPリーダーに接続するための4ピンターミナルブロック1つ。

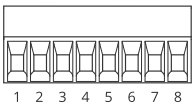


機能	ピン	注	仕様
DCアース (GND)	1		0 V DC
DC入力(+12 V)	2	ユニットに電源を供給	12 V DC、最大440 mA
A	3	ハーフデュプレックス	RS485
B	4	ハーフデュプレックス	RS485

詳しくは、*電気配線図面*を参照してください。

Wiegandコネクター

Wiegandリーダーに接続するための8ピンターミナルブロック1つ。



機能	ピン	注	仕様
DCアース (GND)	1		0 V DC

DC出力 (+12 V)	2	リーダーに電源を供給 (OSDP DC入力からパススルー)	12 V DC、最大440 mA
D0	3	Wiegandデータ	0〜最大30 V DC
D1	4	Wiegandデータ	0〜最大30 V DC
LED 1	5	デジタル出力	0〜30 V DC (最大)、オープンドレイン、100 mA
LED 2	6	デジタル出力	0〜30 V DC (最大)、オープンドレイン、100 mA
いたずら	7	デジタル入力/状態監視入力 - 有効にするにはピン1に接続し、無効にする場合はフロート状態 (未接続) のままにします。状態監視を使用するには、終端抵抗器を設置します。抵抗器を接続する方法については、接続図を参照してください。*監視入力, on page 6*を参照してください。	0〜最大30 V DC
ブザー	8	デジタル出力	0〜30 V DC (最大)、オープンドレイン、100 mA

詳しくは、*電気配線図面*を参照してください。

注

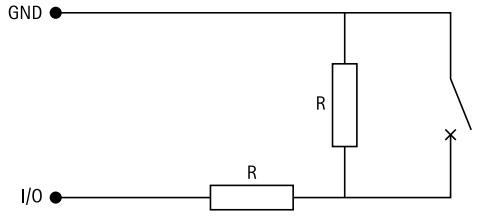
Wiegandデータは暗号化されていません。セキュリティリスクを低減するため、OSDPセキュアチャンネルを使用する場合は、WiegandリーダーをAXIS TA1101-Bのできるだけ近くに設置してください。

監視入力

状態監視入力を使用するには、下図に従って終端抵抗器を設置します。

最初の直列接続

抵抗値は1 kΩでなければなりません。

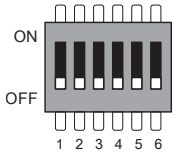


注

シールド付きツイストケーブルを使用することをお勧めします。シールドを0 V DCに接続します。

DIPスイッチコネクター

6ピンターミナルブロック。DIPスイッチのデフォルトの位置はOFFです。



1	2	3	4	5	6	説明
オフ	オフ					アドレス0 (OSDP COMSETに対応)
オン	オフ					アドレス1
オフ	オン					アドレス2
オン	オン					アドレス3
		オフ				120Ω RS485終端は無効
		オン				120Ω RS485終端は有効
			オフ			シングルWiegand LEDモード(LED1)
			オン			デュアルWiegand LEDモード(LED1 + LED2)
				オフ		ケースタンパー無効
				オン		ケースタンパー有効
					オフ	OSDPセキュアチャンネルモード無効
					オン	OSDPセキュアチャンネルモード有効

トラブルシューティング

工場出荷時の設定にリセットする

1. 本製品の電源を切ります。
2. コントロールボタンを押した状態で電源を再接続します。*製品概要, on page 4*を参照してください。
3. コントロールボタンを15秒間押し続けます。*LEDインジケーター, on page 4*を参照してください。
4. コントロールボタンを放します。プロセスが完了すると、ステータスLEDが緑色に変わります。これで本製品は工場出荷時の設定にリセットされました。

設定モード

設定モードにするには、Wiegand LEDが1秒間緑色で点灯するまで、コントロールボタンを10秒以上押します。*LEDインジケーター, on page 4*を参照してください。監視入力の設定方法は、*監視入力, on page 6*を参照してください。

設定モードのとき:

- コントロールボタンを1回クリックして、設定モードを終了します。
- コントロールボタンを2回クリックして、IO5をデジタルとして設定します。
- コントロールボタンを3回クリックして、IO5を監視タンパー用のアナログとして設定します。
- コントロールボタンを4回クリックして、監視オープンコレクター回路を設定します。
- コントロールボタンを5回クリックして、監視スイッチ回路を設定します。

デバイスソフトウェアをアップグレードする

重要

- 事前設定済みの設定とカスタム設定は、デバイスソフトウェアのアップグレード時に保存されます(その機能が新しいバージョンで利用できる場合)。ただし、この動作をAxis Communications ABが保証しているわけではありません。
- アップグレードプロセス中は、デバイスを電源に接続したままにしてください。
- アクセスコントロール管理システムでOSDPリーダーが設定されていることを確認してください。

注

最新のバージョンでデバイスをアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。新しいバージョンにアップグレードする前に、新しいリリースごとに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。デバイスの最新のソフトウェアとリリースノートについては、*axis.com/support/device-software*にアクセスしてください。

1. デバイスソフトウェアのファイルをコンピューターにダウンロードします。このファイルは *axis.com/support/device-software* から無料で入手できます。
2. ドアコントローラーのWebインターフェースに管理者としてログインします。
3. [Peripherals (周辺機器)] > [Upgrade (アップグレード)] > [Upgrade converters (コンバーターのアップグレード)] の順に移動します。
4. [Upgrade converters (コンバーターのアップグレード)] をクリックします。

アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。

技術的な問題、ヒント、解決策

このページで解決策が見つからない場合は、*axis.com/support*のトラブルシューティングセクションに記載されている方法を試してみてください。

デバイスソフトウェアのアップグレードに関する問題	
アップグレードに失敗する	アップグレードに失敗した場合は、デバイスソフトウェアのアップグレードをやり直してください。
デバイスソフトウェアなし	電源投入時にコントロールボタンを60秒以上押すと、デバイスソフトウェアを削除することがあります。この問題を解決するには、デバイスソフトウェアのアップグレードを試してください。

サポートに問い合わせる

さらにサポートが必要な場合は、*axis.com/support*にアクセスしてください。

T10221892_ja

2025-04 (M1.13)

© 2025 Axis Communications AB